

## 第4章 学習障害調査票の作成と予備調査

### 第1節 学習障害調査票の作成

#### 1. 聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するの領域（表1-a～表1-f）

Learning Disabilities Diagnostic Inventory：LDDIを翻訳したもの、並びに学習障害スクリーニングチェックリスト：LDSCを土台に、学習指導要領を参考にしながら項目を練り直した。そして、「聞く」15項目、「話す」18項目、「読む」14項目、「書く」18項目、「計算する」21項目、「推論する」17項目の6領域で計103の項目を作成した。なお、「計算する」と「推論する」では項目に当該学年を示し、既に学習した項目についてのみ回答を求めることとした。

#### 2. 行動、社会性の領域（表1-g、表1-h）

学習障害のある子どもにしばしばみられる行動上の問題は、状況認知の悪さを反映する、集団や対人場面での行動の未熟さや不適切さであり、いわゆるソーシャル・スキルの不足と言われるものである。もう一つは注意力、多動性、並びに衝動性に関わる問題である。しかし、これらの問題は学習障害の中核の障害ではないと考えられ、調査協力者会議の最終報告の定義から除かれている。注意欠陥多動性障害については、周知のとおり、学習障害との高い重複率が我が国でも報告されているが、それぞれが別に診断、判断されるべきものであることは理解されている。しかし、教育の現場では、行動上の問題や逸脱は最も気づかれやすく、気にされやすく、そして対応にも苦慮されていることである。

上野はLD児の指導にあたっては、常に次の5つの領域からみた困難の存在についての視点が必要であると述べている(1996)。それは、①学力の困難（読み、書き、算数の得意な学習の能力の困難）、②ことばの困難（聞く、話す等のコミュニケ

ーション能力に見られる困難）、③社会性の困難（ソーシャルスキル、社会認知能力に見られる困難）、④運動の困難（協応運動、運動企画能力にみられる運動面の困難）、ならびに⑤注意集中／多動による困難（注意の集中困難、持久力の障害、衝動性、多動／多弁等の行動面の困難）である。このように、子どもの指導にあたる教師や指導者が、ひとりの子どもの実態をどのように理解しているかといえば、それは学習面のみの特徴で捉えているわけではなく、行動、社会性、情緒面など、子どもの発達全体を捉えて、理解しているのである。従って、評定者となるこれらの指導者が子どもの実態を把握しやすい調査票にする必要があると考えた。

ここではDSM-IV：精神疾患の分類と診断の手引き（アメリカ精神医学会、1994）を参考に「行動」17項目、「社会性」14項目を作成した。「行動」は落ち着きのなさ、注意力の問題、衝動性を、「社会性」では集団行動、対人葛藤場面行動、社交性などのスキルに関する問題をそれぞれ取り上げている。

#### 3. 「学習障害調査票」の実施と採点の仕方

8領域：134項目質問に対して、その特徴が「ない」、「まれにある」、「ときどきある」、「よくある」のいずれかを選択して回答する4段階評定を用いた。「ない」は1点、「まれにある」は2点、「ときどきある」は3点、「よくある」は4点として換算される。すなわち各領域の合計点の高さはその領域にみられる学習のつまずきの多さを示していることになる。

また、調査票の最後に、児童生徒に関する情報（学力と支援の状況、学習障害の診断・判断の有無、知的障害などその他の障害の有無、生育歴上の特記事項など）、並びに評定者の所属、学校種別、職種に関する情報を収集する頁を設けた（表1-i）。

表1-a

1. 聞 く

- |  |                           |               |               |               |
|--|---------------------------|---------------|---------------|---------------|
|  | ない<br>1                   | まあ<br>ある<br>2 | よく<br>ある<br>3 | よく<br>ある<br>4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |               |               |               |
1. 音の聞き間違いがある。  
(例: 「はな」を「あな」、「知った」を「行った」と聞き間違える)
  2. 長い単語を正しく聞き取ることが難しい。  
(例: 「クリスマス」、「しんかんせん」)
  3. 相手の話を聞いていないと感じられることがある。
  4. 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。
  5. 新しいことばをなかなか覚えられない。
  6. ことばを取り違えることがある。  
(例: 「のり」と「はさみ」、「冷蔵庫」と「洗濯機」)
  7. 聞いたことをすぐに忘れる。
  8. 簡単な指示や質問でも、勘違いすることがある。
  9. 複数の指示を出すと、聞きもらしがある。
  10. 指示を聞き返すことがある。
  11. ゆっくり話されると理解できるが、はやいと難しい。
  12. 程度を表すことばやニュアンスの理解が難しい。
  13. 同じことを表しているが、表現の仕方が違う文の理解が難しい。  
(例: 「犬が猫をおいかける」と「猫が犬に追いかけられる」が同じ意味である  
ということの理解が難しい)
  14. 書いてあることを理解するより、話しことばの理解の方が難しい。
  15. ことばの背後に隠された意味を捉えることが難しい。  
(例: 鉛筆を忘れた人が「鉛筆をっていますか?」と尋ねるのは「鉛筆を貸  
して」の意であるということの理解が難しい)
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |
- |  |                           |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
|  | 1                         | 2 | 3 | 4 |
|  | ┌───────────┴───────────┐ |   |   |   |

表1-b

## 2. 話 す

	ない	まれにある	ときどきある	よくある
	1	2	3	4
1. たどたどしく話す。	└───┬───┬───┬───┘			
2. とても早口である。	└───┬───┬───┬───┘			
3. 話す際の抑揚が不自然だったり、声の大きさの調節が不適切だったりする。	└───┬───┬───┬───┘			
4. 発語の際、音の入れ替えがおきる。 (例：「やわらかい」を「やらわかい」)	└───┬───┬───┬───┘			
5. 発語の際、音の誤りがある。 (例：「おとこのこ」を「おとののこ」のような音の誤りがある)	└───┬───┬───┬───┘			
6. 長い文を復唱することが難しい。 (例：「私はきのう友達と公園へ行きました」)	└───┬───┬───┬───┘			
7. ことばを想起するのに時間がかかる。ことばにつまったりする。	└───┬───┬───┬───┘			
8. 話すときに使う語いの数が少ない。	└───┬───┬───┬───┘			
9. 言い間違いをする。 (例：本当は鉛筆が欲しいのに、「クレヨン」と言ってしまう)	└───┬───┬───┬───┘			
10. 「行く」「来る」、「あげる」「もらう」などの使用に混乱がある。	└───┬───┬───┬───┘			
11. 一般的な連続性のあることばを順序正しく思い出すのが難しい。 (例：電話番号、住所)	└───┬───┬───┬───┘			
12. 明確な語を使わず、指示語などを使う。 (例：「これ」「あれ」などで説明しようとする)	└───┬───┬───┬───┘			
13. 自然に（無理のない文体で）話すことが難しい。 (例：主語・述語が対応していない。順序がおかしい)	└───┬───┬───┬───┘			
14. 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする。	└───┬───┬───┬───┘			
15. 助詞（「は」「を」「へ」など）を適切に使用するのが難しい。	└───┬───┬───┬───┘			
16. 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。	└───┬───┬───┬───┘			
17. 内容をわかりやすく伝えることが難しい。	└───┬───┬───┬───┘			
18. 仲間との会話が続かない。	└───┬───┬───┬───┘			

### 3. 読 む

ない	またにある	またはない	よくある
1	2	3	4

1. 平仮名や片仮名などの文字を読む際に、たどり読みになる。

2. 頻繁に使う語でも、間違えて読む。

(例: 「せいかつ」→「せかつ」、「とおまわり」→「とおわまり」と読む)

1	2	3	4
---	---	---	---

3. 促音や拗音などの特殊音節を読み間違える。

(例: 「がっこう」を「がこう」、「せんしゅう」を「せんしょう」と読み間違える)

1	2	3	4
---	---	---	---

4. 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。

1	2	3	4
---	---	---	---

5. 文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返して読む。

1	2	3	4
---	---	---	---

6. 適切でない(意味の通らない)ところで区切って読む。

1	2	3	4
---	---	---	---

7. 音読が遅い。

1	2	3	4
---	---	---	---

8. 音読する際、形態的に似た文字を読み間違える。

(例: 「き」を「さ」、「入」を「人」と読み間違える)

1	2	3	4
---	---	---	---

9. 音読する際、助詞を読み間違える。

(例: 「学校へ行きました」を「学校をへ行きました」と読み間違える)

1	2	3	4
---	---	---	---

10. 勝手読みがある。

(例: 「いきました」を「いました」と読む)

1	2	3	4
---	---	---	---

11. 漢字がなかなか覚えられない。

1	2	3	4
---	---	---	---

12. 意味的に関連のある漢字と読み誤る。

(例: 町を「むら」、入るを「でる」と読む)

1	2	3	4
---	---	---	---

13. 黙読が苦手である。

1	2	3	4
---	---	---	---

14. 音読はできても、内容を理解していないことがある。

1	2	3	4
---	---	---	---

## 4. 書 く

- |       |        |                       |                            |                  |
|-------|--------|-----------------------|----------------------------|------------------|
|       |        |                       | と<br>な<br>じ<br>ま<br>あ<br>る | よ<br>く<br>あ<br>る |
|       | な<br>い | ま<br>れ<br>に<br>あ<br>る | あ<br>る                     | あ<br>る           |
|       | 1      | 2                     | 3                          | 4                |
| <hr/> |        |                       |                            |                  |
1. 読みにくい字を書く。  
(例：字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない)
  2. 書くのが遅い。
  3. ひらがなを間違えて書く。  
(例：鏡文字「く」→「>」、形の似ている字「い」→「り」と書く)
  4. 聞いたことを正確に書き取ることができない。
  5. 頻繁に使う語でも、間違えて書く。  
(例：「せいかつ」→「せかつ」、「とおまわり」→「とおわり」と読む)
  6. 促音や拗音などの特殊音節を書き誤る。  
(例：「がっこう」を「がこう」、「せんしゅう」を「せんしょう」と書く)
  7. 独特の筆順で書く。
  8. 漢字を書く際、上下や左右が入れ替わる。  
(例：「型」を「向」、「粉」を「辨」と書く)
  9. 漢字の細かい部分を書き誤る。  
(例：「赤」を「赤」、「型」を「型」と書く)
  10. 意味的に関連のある漢字と書き誤る。  
(例：「町」と書こうとして「村」と書いたり、「入る」と書こうとして「出る」と書いたりする)
  11. 文字を写すことが難しい。  
(例：黒板に書いてあることを写すのが難しい)
  12. 文法的な誤りが目立つ。  
(例：主語と述語が対応していない。順序がおかしい)
  13. 助詞をただしく使えない。  
(例：「わたしわ〜」、「わたし学校行きました」、「わたしは学校で行きました」)
  14. 句読点が脱けたり、正しくうつことができない。
  15. 限られた量の作文や決まったパターンの作文しか書かない。
  16. 作文を書く際、漢字をあまり使わない。
  17. 思いつくままに書き、筋道の通った文章を書くことが難しい。  
(例：書いているうちに主題とずれてきてしまう。全体としてまとまりがない)
  18. 事実の羅列のみで、内容的に乏しい。  
(例：気持ちの表現がない。形容詞や副詞など、様子をくわしくする表現がない)

表1-e

## 5. 計算する

注：右端の（ ）内は当該学年を示しています。学年を超えるか、未習の項目については回答の必要はありません。既学習の項目についてはすべてご検討ください。

	ない 1	まれにある 2	ときどきある 3	よくある 4
1. 位数の大きい数を正しく読むことが難しい。 (例：4位数の数を読むことが難しい。億や兆の数を読むことが難しい)	(1)			
2. 位数の大きい数を正しく書くことが難しい。	(1)			
3. 数の概念の理解が難しい。	(1)			
4. 必要に応じてものを2ずつ、5ずつ、10ずつといったようにまとめて数えることが難しい。	(1)			
5. 十五を105といったように、書き表すことがある。	(1)			
6. 数の大小を比較したり、順序通りに並べることが難しい。	(1)			
7. 指を使って計算をする。	(1)			
8. 繰り上がりのある計算が難しい。	(1)			
9. 繰り下がりのある計算が難しい。	(1)			
10. 簡単な計算が暗算でできない。	(1)			
11. 九九ができない。	(2)			
12. 乗法の筆算が難しい。(例： $\frac{12}{28} \times \frac{96}{24}$ のように計算をする)	(3)			
13. 除法の筆算が難しい。 (例：商をどこに立てたらよいか分からない)	(4)			
14. 余りのある除法の計算が難しい。	(4)			
15. 小数どうしの大小判断が難しい。 (例：0.1より0.09の方が大きいと思っている)	(4)			
16. 分数どうしの大小判断が難しい。 (例：分母が大きい方が、分数の値として大きいと思っている)	(4)			
17. 帯分数を仮分数に直す、あるいはこの逆の操作を行うことが難しい。	(4)			
18. 小数の計算が難しい。 (例：乗法や除法の際、答えの小数点の位置を正しくつけることが難しい)	(4)			
19. 分数の計算が難しい。 (例：異分母の計算の際、正しく通分することが難しい)	(5)			
20. 文章題を解くのが難しい。				
21. 計算をするのにとても時間がかかる。				

## 6. 推論する

注：右端の（ ）内は当該学年を示しています。学年を超えるか、未習の項目については回答の必要はありません。既学習の項目についてはすべてご検討ください。

- |   |     | ない | まれにある | ときどきある | よくある |
|---|-----|----|-------|--------|------|
| 1. 時間の概念を表すことばの理解が難しい。<br>(例：「昨日」、「今日」、「明日」、「早い(前)」、「遅い(後)」)                | (1) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 2. 長さや、重さを比較することが難しい。   | (1) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 3. 位置や空間を表すことばの理解が難しい。<br>(例：「前・後」、「左・右」、「上・下」)                             | (1) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 4. 形を構成したり、分解したりすることが難しい。<br>(例：□は△がいくつでできているかといった問題が難しい)                   | (1) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 5. 図形を模写することが難しい。   | (1) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 6. 時間に関する理解が難しい。<br>(例：時計を見て時刻が読めない。「8時15分の30分後は、8時45分になる。」といった時間の計算が難しい)   | (2) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 7. 量を表す基本単位や、異なる単位の関係についての理解が難しい。<br>(例：cm、kgが何を表すかということ。「15cmは150mm」ということ) | (2) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 8. 表やグラフを読んだり、まとめたりすることが難しい。  | (2) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 9. 図形を構成する要素や構成要素間の関係の理解が難しい。<br>(例：「辺」「頂点」、「直径」「半径」)                       | (3) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 10. 三角定規やコンパスなどの器具を用いて、図形を描くことが難しい。   | (4) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 11. 割合に関する問題が難しい。<br>(例：百分率(%)を用いることが難しい)                                   | (5) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 12. 比や比例に関する問題が難しい。   | (6) | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 13. 抽象的な概念を理解することが困難である。  |     | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 14. 十分に考えたり、順序立てして、課題解決に向かうことができない。   |     | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 15. 事の因果関係を理解することが困難である。  |     | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 16. 目的にそって行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい。                                       |     | 1  | 2     | 3      | 4    |
| 17. 早合点や、飛躍した考えをする。   |     | 1  | 2     | 3      | 4    |

表1-g

## 7. 行 動

	ない 1	まれにある 2	ときどきある 3	よくある 4
1. 気が散りやすい。	1	2	3	4
2. 一つの課題に注意を持続することが困難である。	1	2	3	4
3. 外部からの（目や耳に入る）刺激によって容易に注意をそらされる。	1	2	3	4
4. 忘れ物やなくし物が多い。	1	2	3	4
5. 整理整頓が苦手である。	1	2	3	4
6. そわそわと身体を動かし、じっとしてられない。	1	2	3	4
7. 授業中に席を立ったり、歩き回る。	1	2	3	4
8. しばしばしゃべり過ぎたり、はしゃぎ過ぎる。	1	2	3	4
9. 仲間の話や活動をさえぎったり、邪魔したりする。	1	2	3	4
10. かつとなりやすい。	1	2	3	4
11. 衝動的な行動が目につく。	1	2	3	4
12. 順番を待つことが困難である。	1	2	3	4
13. 結果を考えたり、予測することをせずに、行動する。	1	2	3	4
14. 本人の予想に反した結果や状況になると、混乱し、気持ちの切り替えがでない。	1	2	3	4
15. 人からどう見られるか、人がどう感じるかに無頓着である。	1	2	3	4
16. 難しそうな課題にはなかなか取り組めず、投げ出してしまう。	1	2	3	4
17. 仲間とのいさかいやトラブルが多い。	1	2	3	4



表1-h

## 8. 社会性

	1	2	3	4
1. 教師の指示に従って、皆と同じように行動することができない。	ない	ま	ど	ま
2. 仲間の意見や発表をきちんと最後まで聞こうとしない。	ない	ま	ど	ま
3. クラスのきまりを守ることができない。	ない	ま	ど	ま
4. 仲間と協力したり、協同作業することができない。	ない	ま	ど	ま
5. 一つの活動から次の活動へスムーズに移行できない。	ない	ま	ど	ま
6. 教師や他の大人に注意されると、反発する。	ない	ま	ど	ま
7. 自分と合わない仲間とは上手く付き合っていけない。	ない	ま	ど	ま
8. 仲間と意見が食い違った時に主張を譲ることができない。	ない	ま	ど	ま
9. 自分の意見や気持ちをはっきりと言えない。	ない	ま	ど	ま
10. いやなことを言われたり、理不尽な扱いを受けた時に、言い返したり、適切な形で抗議することができない。	ない	ま	ど	ま
11. 自分から仲間を誘って活動したり、リーダーシップをとることができない。	ない	ま	ど	ま
12. 友達が困っていても声を掛けたり、助けたりすることができない。	ない	ま	ど	ま
13. 挨拶や「ありがとう」、「ごめんなさい」等の感謝や謝罪のことばが言えない。	ない	ま	ど	ま
14. 仲間に入りたくても、自分から行動できない。	ない	ま	ど	ま

